



地域に密着した消防団活動の推進

地域防災室

○ 消防団の重要性と課題

消防団は、全国すべての市町村に設置されており、「自らの地域は自らで守る」という精神に基づき、火災や大規模な自然災害における活動のみならず、平常時においても、地域に密着した様々な活動を行っており、地域の安心・安全を確保するためにも極めて重要な存在です。

しかしながら、全国の消防団員数は年々減少し続けており、地域における防災力の低下が懸念されています。

本稿では、消防団員数を増加させ、令和3年度の消防団等地域活動表彰を受賞した、三重県いなべ市消防団の活動を紹介します。

○ 大型商業施設と連携したPR活動

いなべ市消防団では、幅広く消防団をPRするために、市内の大型商業施設と連携し、消防団を紹介したパネルや、消防団車両の展示を行っています。子どもから大人までが直に消防団とふれ合う機会を設けることで、地域の防火・防災意識の高揚に繋げるとともに、魅力ある消防団について広報を行っています。



大型商業施設での消防団PR活動の様子

○ 市内企業への呼びかけ

新規入団者の多くが被雇用者という状況を踏まえ、消防団長と副市長が市内企業を訪問し、消防団活動への理解と協力について積極的な呼びかけを行っています。消防団員が活動しやすい環境を整えることで、消防団員の確保に繋がっています。

○ 女性消防団、少年消防クラブの発足

いなべ市消防団では、女性の入団促進のため、令和3年度から新たに女性消防団を発足させました。女性が安心できる環境を整えた避難所運営支援や、子育て世代への防災指導方法の提案など、女性の視点を取り入れた様々な取組により、地域防災力の向上に貢献しています。

また、平成28年度には、いなべ市少年消防クラブを発足しており、子供たちへの防災教育を行うとともに、消防団OBによる消防の実践的な活動を取り入れた訓練等を通じて、将来的な消防団員の担い手を育成しています。



「女性が安心できる避難所」検討会の様子

○ 消防団活動の推進に向けて

消防団は、職種、性別、年齢等に関係なく、一人でも多くの住民に防火・防災について考えていただける機会を設けており「自らの地域は自らで守る」という自助・共助意識のもと、今後発生が危惧されている大規模災害などへの備えを行っています。

今回ご紹介したように、平常時から地域に密着した消防団活動を継続して行うことで、防火・防災や消防団に対する理解が深まり、一人でも多く、消防団員が増加することが期待されます。各地で実施する消防団の活動について、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

問合せ先

消防庁国民保護・防災部 地域防災室
TEL: 03-5253-7561